

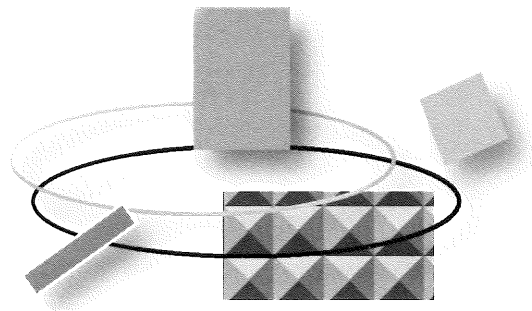
会社の存立

一次期経営計画策定に向けて

■日時 2006年7月6日(木) 13:15~16:00

■会場 大手町サンケイプラザ 312号室

■講師 (株)現代経営技術研究所
 上級主任研究員 大島 和義
 主任研究員 大槻 裕志
 主任研究員 大塚 壽広



プログラム

13:15 基調講演 転換するトレンドへの対応

現研上級主任研究員 大島和義

- 今、企業存立基盤確保に向けて
- アップスパイラル、ダウンスパイラルの加速
- 優勝劣敗、格差構造、意識と価値観
- 再編への新たな圧力、システム創造への要求

13:40 競争を勝ち抜く底力をつける戦略展開

現研主任研究員 大槻裕志

- 点検—導入したシステム・制度が会社のよき力を壊していないか?
 (例)ERP、リスク・マネジメント、コンプライアンス・ガイドライン、倫理相談窓口、成果主義人事等
- 戦略小集団ユニットで経営参画の裾野を拡大する
- 戦略意思決定のための企業意思の確立—進む事業、変わる事業、退く事業
- 新ビジネスモデル実現へ—能力構造を刷新する教育戦略を構想に組み込む

14:40 コーヒーブレイク・中間質疑 (参加者名刺交換)

14:50 戦略を前に出す力の創出

現研上級主任研究員 大島和義

- 各組織の管理と教育の重点
 開発部門は「人を見る目」を切り替える。プロジェクトは「次に向かう意識」を徹底して育てる。営業部門は成果と努力の「格差の限度」を確認する。製造部門はひとりひとりの「思考ダイナミズム」を取り戻す。教育部門はグローバル人材・能力の「倍増要求」に応える。人事部門は今後10年「一貫性ある」評価制度と賃金体系の基本を固める。管理部門は子会社の「新たな意義」を問い直しさらに強化する。……。
- 次期経営における組織実力の強化

15:45 討議・質疑

現研主任研究員 大塚壽広

15:55 総括

16:00 終了

*お名刺の交換をしていただきますのでご用意下さい。

主旨

企業を取り巻く環境は、激しい優勝劣敗、格差拡大に向かって加速しています。企業間の競争問題だけではなく、M & Aに代表されるように、自社の戦略を打ち砕きかねないような外部の影響力もさらに大きなものになっています。

この状況の中で、いったい自社の存立基盤は何か、そしてそれを揺るがすファクターは何なのか。そのことについての徹底的な掘り下げ、解明が必要です。

今われわれに問われているのは、この自社の存立基盤をどう守り育て、新時代環境に適応し、どう強化していくかという問題です。

業績好調の企業であっても、絶えず未知のリスクと背中合わせで突き進んでいる現実を強くお感じになっていると思います。そのような観点から、社の戦略を刷新しどう次期経営計画を策定していくか。当研究会で皆様と検討していきたいと存じます。

是非、ご出席くださるようご案内申し上げます。

会場案内 大手町サンケイプラザ

千代田区大手町1-7-2 Tel. 03(3273)2258~9



※JR「東京駅」より徒歩7分

※地下鉄丸の内線・東西線・千代田線・三田線・半蔵門線「大手町」駅 E1出口直結

現研41周年

現研
 (株)現代経営技術研究所

[本部]〒113-0033 東京都文京区本郷1-25-25日商連ビル TEL03-3813-7338(代) FAX03-3813-6964 URL: <http://www.gen-ken.co.jp>
 [経営調査部分室]〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-17 ICNビル TEL03-3813-7910(代) FAX03-3813-7920
 [ロンドン事務所] GORDON HOUSE, 6 LISSENDEN GARDENS, LONDON NW5 1LX U.K. TEL44-20-7482-8813